

らくより

楽しく 陽るく 荘全体で
お年寄りの人権を守ります。

その方らしい生活が出来るよう応援します。

最後までお世話させていただき準備が出来ています。

特別養護老人ホーム楽陽荘 平成30年10月号 NO. 302

< 下出地区有志慰問 >



秋分の日、楽陽荘のある下出自治会から有志の皆様による慰問がありました。はじめに大正琴の演奏があり、懐かしい曲に合わせて手拍子をしたり一緒に歌ったり楽しめました。日本舞踊では、美しい着物やみごとな舞に「綺麗やなあ」と見入っていました。慰問の方に知り合いも多くおられ、「今日はよかった～楽しかったよ。また来てな」と声を掛け合い、再会を喜ばれました。



< 中部中学校職場体験学習 >



9月11・12・13日の3日間、中部中学校の生徒さんが3名、職場体験学習に来てくださいました。掃除やシーツ交換、食事介助などをしました。シーツ交換は、シワのないように綺麗にのぼしながら、食事介助では上手に「これも食べますか？」と優しく声掛けをされていました。レクリエーションでは、ぬり絵を一緒に塗ってお年寄りはとても喜ばれていました。大変でしたが楽しい3日間ありがとうございました。

生徒さんからお礼のお手紙を頂きました。その中で感動した言葉をご紹介します。

- ・人とのコミュニケーションや困っている方のお手伝いをした後の達成感を知ることができました。
- ・「相手のことを想う心」の大切さを実感しました。
- ・朝の挨拶や昼の挨拶をした時、職員さんやお年寄りの方が笑顔で返してくれ「コミュニケーションの大切さ」を実感しました。



< お月見 >

9月24日は中秋の名月でした。みんなで作ったお団子を飾りながら「もう秋やなあ～」「お団子上手にできたし美味しそうや」など会話も弾みました。ススキや栗と一緒に団子もお供えして写真も撮りました。お団子には、あんこときな粉をお団子が隠れるくらいかけ、「夕飯入らんかも・・・」と心配されながらもたくさん食べられていました。

< 編集後記 >

9月は台風が3回も通りました。被害にあわれた方には、お見舞い申し上げます。10月に入り金木犀の香りも届きはじめたと同時に、太鼓の音が聞こえてくると、園内はお祭りの話で大盛り上がりです。そして、各地域の民生委員の方々がお年寄りのお顔を見に来て下さいます。皆さん楽しみにしておられます。

広報担当：石川・高橋麻・安藤